

第2回境港市みんなでまちづくり推進会議録

日時：令和2年7月20日（月）午後6時30分～8時20分

場所：境港市役所保健相談センター講堂

日程

1. 開会・挨拶・事前説明
2. 委員自己紹介
3. 話題提供
4. ワークショップ
5. 事務連絡・閉会

出席者（敬称略）

（委員）

遠藤恵子 松本幸永 松本信子 渡邊冬樹 井上竜輔 遠藤緑
松田真二 幸野靖子 畑本愛 池淵一 吉田明広

（事務局）

築谷俊三（総務部長） 沼倉加奈子（地域振興課長）
北野瑞拓（地域振興課主査兼企画係長） 渡部大樹（地域振興課企画係主任）

欠席者（敬称略）

なし

傍聴者

なし

1. 開会・挨拶・事前説明

（事務局）

定刻となりましたので、ただ今から令和2年度第2回境港市みんなでまちづくり推進会議を開会いたします。私は本日の進行をいたします境港市地域振興課の渡部です。よろしくお願いいたします。

令和2年度になって初めての会議ということになりますので、改めてスタッフの紹介もさせていただきます。総務部長です（総務部長の築谷です）。地域振興課長です（地域振興課長の沼倉です）、地域振興課の北野です（4月から異動しました北野です、よろしくお願いいたします）。

また、本日は、本推進会議のアドバイザーでいらっしゃいます島根大学法文学部教授 毎熊浩一（まいぐまこういち）先生に来てもらっております（毎熊です、よろしくお願いいたします）。

ます。)

それでは、まず、本推進会議の松本会長よりご挨拶をお願いします。

(会長)

皆さん、こんばんは。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

本日は、「ウィズ・コロナ時代のまちづくり」と題してワークショップをしていきます。前回の推進会議では、今期の取組テーマで皆さんにアイデアがあれば考えておいてほしいということをお伝えしておりましたが、事務局と今後の推進会議について協議していく中で、毎熊先生からも「やはりこのコロナというものを無視しては話は進まないだろう」というアドバイスもあり、これからも続くであろうコロナについて一度しっかり話し合っそこで今期の取組テーマを決めていくという運びになりました。ですので、今回のワークショップのねらいとしては、「ウィズ・コロナ時代」における境港市の姿を考えていただいて、そこから何が求められるのか、自分たちにできることはないかということを読み出ししていくということになります。もし、委員の皆さんの中で、こういうアイデア用意してただけどなあという方がいらっしゃったら、今日のワークショップの中で何とか絡ませて意見として出していただけたらと思います。

それでは、皆さんよろしくをお願いします。

(事務局)

会長、ありがとうございました。

それでは、続きまして、皆さんから自己紹介をしてもらいたいと思います。どんな委員さんがいらっしゃるかということも毎熊先生に分かっていただきたいので、前回もしてもらいましたが、改めてお願いします。

2. 委員自己紹介

(事務局)

では、氏名と、職業ですとか所属している団体ですとかのまあ普段何をされているか、ということと、このコロナの影響の中、自分はこんな風に過ごしたとか、こんな風に生活が変わったというのを話してもらえたらと思います。例えば、僕の場合ですと、名前は渡部大樹です。境港市の職員です。そのほか「はまのめ」という職員の有志グループを結成しまして、月1回外部から講師を招いて話を聞く勉強会をしています。4月・5月はコロナの影響で会が開けませんでした。代わりに家で過ごす時間が増えた人のために、フェイスブック上でメンバーが順番におすすめの書籍を紹介するという企画をしました。もしかしら見られた方もいるかもしれません。それから、仕事でウェブ会議をすることが増えました。とまあこんな感じですかね。では、会長から順番をお願いします。

(会長)

この会議の会長をしております。団体の方では、「境港ウインドアンサンブル」という吹奏楽の団体で、市の色々なイベント等で演奏をさせていただいております。最近、ようさく練習も再開させ、演奏のオファーもいただいているところです。よろしくお願いします。

(委員)

境港若手農家の会「NEXT」という会の会長をしております、コロナの影響でなかなか会もできないような状態になっています。これが落ち着いたらみんなで楽しく意見交換をしていきたいなと思っています。それから、「境港大漁太鼓」という団体をしております、通常は週2、3回練習があるのですが、週1回の練習になっています。こういった会で皆さんと意見交換をして、境港を元気づけたいと思っていますので、よろしくお願いします。

(委員)

境港で船舶専門の電気屋をやっております、それとは別に、「NPO 法人元気みなと」というお魚ロードで大漁祭などを行っている団体の副理事長をしております。あと、米子では、映画上映団体の米子シネマクラブの会長をやっています。ほかにもいろいろやっていますけど、そんな感じです。よろしくお願いします。

(委員)

出身は石川県で、航空自衛官をしていた際に美保基地にやってきました、出産を機に退職し、境港に定住する運びとなり、早17年住んでおります。なので、石川県に住んだ年数とほぼ同じ期間を境港で過ごしていますので、境港を面白いまちにしたいなと日々頭を巡らせているところです。渡町で個人開業のマッサージ店をしながら、境港荒神神楽太鼓保存会という太鼓団体に入っており、毎年、みなと祭を楽しみに生きてきたのですが、今年移住して初めて祭がないということになり、魂が抜けたような気持ちになっております。何とか、元気なまちづくりを考えながら、来年はもっとすごい祭ができるようにできたらなと思っています。祭好きです。よろしくお願いします。

(委員)

境港更生保護女性会というおばさんばかりの団体に入っています。境港保護部の保護司でもあり、婦人会とか団体にはたくさん入っています。6月から始まりました上道公民館にも毎日通っており、公民館運営審議会委員も20年以上やっています。よろしくお願いします。

(委員)

島根大学で毎熊先生の元で勉強しています。個人的には大学4回生で就職活動中ですが、コロナの影響で公務員の試験も延期になっていましたが、ようやく始まってきたところです。ですので、6月まではずっと引きこもって勉強をしていました。よろしくお願いします。

す。

(委員)

仕事は鳥取短期大学で働いています。一昨年まで島根大学の法文学部と大学院にも行っておりました。コロナの影響は、短大は1週間休校しただけで、対面で授業ができていたので、良かったなあと思っているんですが、やはり皆マスクをしていますので、学生の顔がなかなか覚えられないというところと、学生同士も距離があるかなという感じがしています。今年は、島大にもお世話になっていて、オンライン授業をしているのですが、パソコンが得意ではないので、四苦八苦という感じです。世の中、会議とかもオンラインになっていますが、人と会ってコミュニケーションができるのが良いなと思っています。

(委員)

昨年、境港青年会議所の理事長をしておりまして、今年、直前理事長をしております。青年会議所の取組として、今年、公開討論会を企画したのですが、コロナの影響で Youtube や Facebook での動画配信という形を取りました。当日、約千人の方が生で見られて、動画もかなりの人が見てくれました。

例年ですと、みなと祭や妖怪 Jazz フェスティバルやゲタ飛ばし大会といった活動を行います。こういう状況になって、Jazz も祭もなくなって残念だなあという風に思っています。ゲタ飛ばし大会については、ゲタを飛ばす風景を動画で撮って投稿してもらおうというコンテストをしようかなと考えています。会社は渡町でガス屋をやっています。仕事の方もコロナの影響で商品が入ってこなかった時期もあったりしたんですけど、今は回復傾向にあるし、市からの商品券を配ったりとか、国の方からも10万円が配られたというところで、かつてより、地域に密着したところでお金を消費しようという傾向も高まっています。市役所の職員さんが地元の飲食店でテイクアウトされたり、古き良き時代というか、地元で消費して、地元で経済を回すっていうところが逆にコロナの影響で見つめ直されたのかなと考えております。自分も青年会議所とかPTAとか色んな役をやっているんで、夜ほとんど家にいないという日々が続いていましたけど、今年は自粛で自分も家で、経営の本やまちづくりの本を読んだり、吸収する時間や休息する時間が大切だなと改めて感じたところです。また、最近は家にいない日々が多くなってきていますが、それはそれでまた多くの経験が積めるのではと思っています。よろしくお願ひします。

(委員)

外江公民館の主事をしています。コロナ自粛が解け、6月から公民館も活動できるようになり、ようやく活気が出てきたと感じていますが、年間の地域行事がほとんどなくなりました。ずっと続いてきた行事がなくなるというのは寂しい気持ちもありますが、良い機会です。これまで行ってきた行事の見直しことができました。これまでずっと行事に追われてきましたが、違う発想でできるんじゃないかという考える機会をいただいたなと感じていま

す。毎年行事に追われて反省する時間もなかったのですが、地域が元気になるにはどうしたら良いかというのを話し合いながらがんばっています。よろしくお願いします。

(委員)

建築設計事務所を自宅でやっています。私が皆さんと大きく違うのは私には人間関係というものがありません。どこにも所属していません。インターネットでしか世の中と繋がっていません。私は境港市の仕事をしていません。よそで仕事をして飯を食っているのに、境港市をよそから見ているという意識を持っています。だから、皆さんと全然違うものの見方をしています。だから、私はマスクをしません。なぜかというと、みんながしているなら自分はずしなくても飛沫はカバーできます。だから、人と同じことをしないんです。ということで、何か関わってみようかなと。アイデアだけはあるので、いろいろ提案してみようかなと考えています。よろしくお願いします。

(委員)

仕事は南部町の製造業の会社なので、今日は仕事を終えてすぐ向かってきました。夕日ヶ丘で役員をしています。イベントごとは全部なくなって、町内清掃すらもやめようということになって、毎年楽しみにしている夏祭りもなくなって、気が抜けているところです。会社では4月頃から出張が一切禁止になり、出張の受入も一切禁止で、会議も必要最小限になり、8割9割方なくなりました。夜の飲み会も中止で、家で飲んだり、テイクアウトしたり、家でゴロゴロしたりしているせいか、ベルトの穴がきつくなって大分焦っています。よろしくお願いします。

3. 話題提供

(事務局)

ありがとうございました。それでは、続いて、毎熊先生からお話いただきますが、先生からもぜひ自己紹介もしていただけたらと思います。

(アドバイザー)

皆さん、よろしくお願いします。毎熊と申します。

今日一番お伝えしたいことは会長さんが仰ってくれて、どんなテーマを選ぶにせよコロナを抜きにして語れないんじゃないかということをおもっています。結果的に、テーマがコロナと直接に関係がないものになってもそれは構わないんですけど、テーマを決めるにあたって、一度コロナについて考える必要があるんじゃないかということで問題提起させてもらいました。皆さまからは事前にこういうテーマをやりたいということをお聞きしているということでしたので、もしそれがあれば、このワークショップの中でお話しいただいて、検討していただけたら良いと思います。

自己紹介をしるってことでしたが、島大は全部オンライン授業になってしまって、その

準備で大変です。通常は、自分の講義ノートを少しずつ修正しながら同じことやっていくんですよね。8割くらいベースがあるとはいえ、やり方はガラッと変わって、日々パワーポイントに自分の声を吹き込んでいるというのがずっと続いていて、少しへこたれています。それと合わせて、時々学生とオンラインの授業をしています。それから、リラックスもしなきゃいかんということで、子どもたちとたくさんバーベキューしました。子どもたちも1か月半くらい休みがあったので、楽しんでいました。

これはうちの三女ですけど、学校が休みになる前日に熱が出ました。めちゃくちゃ焦りました。名前がばれて彼女が学校でいじめられるんじゃないかとか、自分のこととして本当にいろいろ考えました。

もう一つ、これはネタなんですけど、子どものテストなんですけど、鳥取県の人に謝ろうと思って。「鳥取」が「鳥助」になっていますね。思わず、「焼き鳥屋か」ってつつこんだんですけど。ちゃんと教えましたけどね。

先ほど、読書されたっていう話もありましたけど、『ペスト』読んでみようかなって電子書籍で読んでみました。最近、色んなところで取り上げられてて、読まれた方もおられるかもしれませんが、最も注目されている部分というのが、リュウという医師が出てきますが、彼が「ペストと闘う唯一の方法は誠実さだ」と言うんですよね。これがクライマックスでもあるんですが、で、「誠実さ」とは一体何かというと、「自分の職務を果たすことだ」って言うんですよね。このとき、淡々と治療にあたっているのがこの彼の誠実さの現れなんでしょうけど、それがずっと引っかかっていて、「職務」って一体なんだろうってずっと考えています。今日の会議におられる行政の職員さんの職務、みんなでまちづくり推進会議の委員の職務、あるいは、市民一人ひとりの職務って言って良いのか分からないですけど、境港での位置みたいなものを考える機会になれば良いなと思っています。

コロナについて、どう考えてたかっていうと、良くも悪くも世の中が変わっていくだろうということですね。それを前提にして色々なことを考えていけないんじゃないか。「コロナ禍」と言われていますが、当て字で「コロナ価」としていますが、これをチャンスとして捉えないといけないんじゃないかなと思っています。それと、行動変容っていうのがコロナ対応で言われていますけど、コロナ対応だけでなく、我々自身がこれを機会に行動を変えていく、新しい生活様式も今日資料で配られていますけど、校則みたいに、あれするな、これするなというばかりでなく、自分たちで、例えば、境港なら境港なりの生活様式というのはこうだ、というのが打ち出せば良いなと思います。

それで、2つ協調したいことがあって、これはネット上で学生とコロナについて議論したときですけど、学生からの意見ですが、格差の問題、医療の問題、福祉の問題とか色々な問題があるんだけど、たまたまコロナで顕在化しただけで元々あったものじゃないかと。例えば、差別の問題だってそうですよ。全くそうだなと思って。コロナのせいじゃないですよ。だから、全部をコロナのせいにするんじゃなくて、コロナがなくても対応していかないといけない問題っていっぱいあるので、改めてコロナを機にしっかり考えておく必要があるんじゃないかと痛切に感じています。これが1つ。全部コロナのせいにするなど

いうことですよ。

もう1つ、コロナは色々な意味でチャンスだと思うんですよ。色々な媒体で地方にとってチャンスだって言ってますよね。都会は密だから、地方に興味を持っている人が増えているとか。それはそうなんですけど、一方で、地方がチャンスというのほどこもそうなので、よっぽど頑張らないといけないんじゃないかって気がするんですよ。境港ってそれなりにブランドがありますよね。そういう意味じゃ、これまであったブランドでは太刀打ちできない状況になっていくんじゃないかって思うので、のんびりと「チャンスだよ」って言うよりかは、何か打って出ないといけないんじゃないかって思います。

で、よく全国的にも取り上げられる雲南市ですけど、僕も出かけて雲南市の職員さんとワークショップをしたのですが、コロナのこを受けて、どう対応していくかという会議のチームをすぐ作って、議論してるんですよ。コロナをチャンスと捉えてどんな風にしていくかということと、不要不急ってよく言われますけれど、不要不急の役所の事業っていっぱいありますよね。それを見直そうじゃないかというのを真剣に取り組んでおられます。それと、これは雲南の市民団体の画像ですが、雲南は市民団体がすごく動いておられます。本当に打って出ていかないといけない、のんびりと構えていてはいけないと思います。

僕ぐらいの世代では、「未来予想図」という言葉は良くないですか。境港なりの、境港市みんなでまちづくり推進会議なりのコロナを前提とした、あるいは、コロナと付き合っていく未来予想図を描かないといけないんじゃないか。本当は総合計画とか出来ているはずなんですけど、それをガラッと変えていかないといけないくらいインパクトがあるんじゃないか、と思っています。そこまでの権限がこの会議にはないでしょうけど。

今日、そういう未来予想図を書いていくという会議に出来ると良いなあと思っていて、色々なアプローチがあると思うんですけど、企業にお勤めの方は見たことあるかもしれないですけど、**SWOT** 分析というやり方です。まず、コロナのチャンスの部分と、脅威の部分と両方あると思うんですけど、それが一体何なのかというのを考えてみないといけないですよ。それに対して打って出ないといけないわけですけど、手ぶらで打って出るわけではなくて、境港が持っている強みとか、弱みとかあるはずなので、強みを生かしつつ、かつ弱みを抑えつつ打って出ていかないといけないということですね。

それを考えていくと、戦略が出てくる。通常、**SWOT** 分析ってこういう風になります。チャンスと強みが重なるところってガンガン行けば良いですよ。脅威と弱みが重なる部分ってというのは、会社だと撤退するって話ですけど、まちづくりで撤退してにくいところですので、何とか上手にやっていくということになるかと思います。

実際は、こんなに簡単には出て来ないですけど、これを手掛かりに未来予想図を立てて、どうやってアプローチをしていくかっていうのを考えて、全部はできないので、みんなでまちづくり推進会議の中で、ここだったらメンバーでもっと深めていけば、まちのためになるんじゃないかっていうところを今日見つけられると良いかなあと思って話題提供させていただきました。

これまでですと、私がグループワークのファシリテーターもやっていたんですけど、事務局にももっと育ってもらわないかんとということで、全部事務局に任せますので、サポートしながら、事務局に任せたいと思います。ありがとうございました。

4. ワークショップ

(事務局)

毎熊先生、ありがとうございました。それでは、ワークショップを行います。ワークショップの流れについてお話しします。お手元の「ウィズ・コロナ時代のまちづくり」ワークショップについてという資料をご覧ください。まず、2. タイムスケジュールをご覧ください。このあと最初の45分は今座っている班で協議をしていただきます。協議のあとは、各班にそれぞれ協議内容について発表してもらい、最後に毎熊先生の方から総評とテーマ決めの協議をしてもらいます。

次に3. ワークショップの形式をご覧ください。初めの15分で「ウィズ・コロナ時代ってどんな？」というテーマで協議していただきます。その次の15分で、「どんな対応が必要？」最後の15分で「こんな今期の取組テーマはどう？」と話していただきます。

机に模造紙がありますが、これを①と②で活用していただけたらと思います。A3の用紙は最後の③で使ってもらえたらと思います。

それから、机上には国と県が作成した「新しい生活様式」についての資料を配布しておりますので、参考にしてください。

それでは、まず、①「ウィズ・コロナ時代ってどんな？」から協議していただきますが、具体的には「機会（チャンス）」と「脅威（リスク）」に分けて意見を出してもらいます。つまり、ウィズ・コロナ時代ってこんなリスクがあるよね、だけど、こんなチャンスもあるよねってことを整理してもらいます。例えば、先日、鳥取市の方が東京に研修に行って感染されました。県外では感染者が多い地域もあるので出張に行くにも当然感染するリスクがありますね。一方で、僕が自己紹介でも言ったウェブ会議。これまでもウェブでの会議は技術としてはありましたが浸透はしていなかった。それがコロナの影響で一気に進んだ。専門家を呼ばなくても、オンライン上で講演会もできるし、それに人が集まるようになった。これはウィズ・コロナ時代におけるチャンスですよ。そういった、チャンスとリスクを整理していただきます。

それから、協議にあたってはまず進行される方を決めてください。で、意見の出し方も自由ですので、順番に話していくとか、もしくは、最初はみんな黙々と付箋に書いていくとかその辺りはお任せします。では、今から15分間、7時22分までとしますので、よろしくをお願いします。

※15分協議

まだ話し合いの途中かとは思いますが、ウィズ・コロナ時代はこんな時代だっていうのが大分整理されたかと思っています。続いてはそんな時代になって「どんな対応が必要か」を

協議していただきます。これには境港の「強み」と「弱み」を意識しながら意見を出しあってください。こんなチャンスがあるから、境港市のこの特徴を活かせば、こんなことができるな、とか、こんなリスクがあるのに、境港市はここが弱いままじゃまずいぞ、ここを強化しないとだめじゃない？とか。そういったことを整理してみてください。それでは、7時37分まで協議を行ってください。

※15分協議

まだ話し合いの途中かとは思いますが、よろしいでしょうか。では、最後のテーマは「こんな今期の取組テーマはどう？」と題して、「どんな対応が必要か」で出た意見から、自分たちはこんなことができるんじゃないか、というものをいくつかピックアップして、それを今期の取組テーマの候補としていただきます。そのあと、2つの班にはそれぞれ、こんな取組テーマはどうかという発表をしていただきます。ですので、発表する人も決めてくださいね。それでは、よろしくをお願いします。

※15分協議

それでは時間となりましたので、以上で協議は終了とし、発表に移りたいと思います。

最後に協議していただいた「こんな今期の取組テーマはどう？」についてこちらの班からお願いします。

(会長)

境港市民向けの情報発信、境港あれこれ、紙媒体であれば、毎月1日に商工会議所が発行しておりますが、紙は読まないという方もおられますので、SNSやYoutubeとか色々なツールを使って、また、色々な年代に情報が届けられるように窓口の一本化など。

それから、前にこの会議で自衛隊員さんは資源であるという話がありましたけど、若い方は境港でのお金の使い道がない。皆生なんかでは、米子市民に対して、割引がありますが、市内の施設に協力してもらって境港市でも割安で来てくださってというようなことができれば良いかと思います。そのために、情報発信ができれば良いなと思います。

それから、今は仕事でも何でもオンラインでできるようになっていますが、音楽イベントでも、一人一人がオンラインで演奏して、一つの画面で見られるということでも、そういうことも境港でも、市内の色々なところ、例えば、誠道小学校でも見ることができるようにするとかすると良いと思います。そうすると、観客の声が届くような仕掛けもあるそうですね。そういった機械を扱える方は、良いんですが、そういったことはできないという方には誰かが「どどこで世話をする」として見に来てもらうとかですね、そういうことができると良いなあとと思います。そういった施設がほしいです。

音楽イベントに限らず、仕事でもできますし、将来は、ぜひそういった場所がいくつかできればと思います。

(事務局)

ありがとうございました。それでは、次の班、お願いします。

(委員)

今までも会議で議論してきたU・Iターンのことから、やはり人口を少しでも増やすための取組をしていかなきゃいけないというところの中で、仕事とか大学とかがかなり重要になってくるかなと思いますので、境港で自宅にいながら仕事や大学など全国にアクセスできるまちづくりが重要になってくるかと思えます。そこで、ウェブの環境整備やそういったことに詳しい人材といったところにしっかりと行政としても投資していただいて、そういった環境を整えていってほしいなと思います。小学校がコロナの影響で休校になったときも、ウェブの授業だとかがなかなか難しかったのかなと思いますので、中学・高校も含めて、そういった体制を整えたりとか、企業もウェブの方に投資できるような形にして、仕事も境港・自宅にいながら、境港だけに依存しなくても稼げるようになれば良いと思えますし、地元の企業もウェブを活用することで新しい顧客を得ることができるのかなと思えます。

やはり、日本は高齢の方に優しいということで、いまだにFAXで仕事の通信をしているようなところも多いんですけど、やっぱり、そこを少しずつ投資したり、整備したりしながら、変えていかないといけないところは変えていかないといけないと思います。

現実で、まちづくり団体に入られてる方とか、色んな人と人との繋がりがある方は、ウェブ上やSNSで繋がれば、さらに繋がりが強くなりますし、繋がっている人とまた別の人の繋がりが広がっていくことでコミュニティがウェブ上で広がっていったら、他の人が入って来やすい環境にもなっていくのかなと思っています。

(事務局)

ありがとうございました。たくさんの意見が出ましたね。それでは、毎熊先生に総評とテーマ決めの進行をお願いできればと思います。

(アドバイザー)

テーマが決まればと思いますので、サポートしたいと思います。

確認ですが、最初の班は、4つできるということですか。それとも、「情報発信」というのに集約できるということですか。先ほど、自衛隊員に対しての遊び場とか、割引とか仰っていて、それに対して情報がちゃんと発信できればということで、情報発信というところに集約されているのかなと思ったんですがどんなもんですか。情報発信が一番のメインでターゲットが色々あって、コンテンツが色々あるとか、そういうイメージですか。

(委員)

市民の方にどう消費してもらって、お金を回していくかというところで、情報発信が必

要になってくるので、その情報発信のやり方とかですね。

(アドバイザー)

情報発信に集約されるということですね。ターゲットやコンテンツは色々あっていいんじゃないかということですね。こちらのグループが面白いなと思ったのが、前回は「U・I ターンしたくなるまちづくり」で、どっちかという、境港に魅力があるから来てよっていうのを考えていたけど、今回はそれに対になるのかなと思って、境港にいれば外にある魅力も味わえますよっていうことですよ。例えば、東大生がここに住んでも良いじゃんってことですよ、東大生じゃなくても良いけど。なので、前回と連続性があって面白くなって思いました。この2つって実は繋がるんじゃないかと思っていて、境港市に住んでいる人達や境港に住もうと思っている人達に、境港市の魅力もあるけれども、外の魅力もここで味わえるということ、ちゃんと情報発信して伝えなきゃいけないですし、知ってもらわなきゃいけないですよ。だから、決まりじゃないですか。

自宅にしながら仕事・大学に参加できるまち、表現はもう少し包括的なものに変えた方が良くないかと思えますけれども、その上で、どっちみち、情報発信をちゃんとやらないといけないので、情報発信ができていなかった部分をしっかりと反省しながら、新たな情報発信方法を探っていく、そのような2年間にしたらどうでしょうかと思えますけど、いかがですか。

※委員拍手

(アドバイザー)

最初、コロナについて話し合おうというのを提案させてもらって、これテーマ出るんかなって不安でしたけど、案外落ち着くところに落ち着いたなと思っています。ただ非常に広いテーマだから、色んなこと話ながら、進めていけたら良いですね。なかなか面白い提案ができると思いますし、実験的に情報発信を Youtube でやってみるとか。見ればすぐ眠れる動画作るとかって話も出ていましたね。時々眠れなくなるので、ぜひ作ってもらえたらと思います。

ということで、事務局にお返しします。

(事務局)

はい。ということで、どちらの班も境港市の良さですとか、伝わっていない部分というのをもっと伝えていくべきではないかということでは共通していたのではないかと、そして、中の人にも外の人にも伝えていくためにどんな方法があるかというのをこの会議を通じて考えていくというようなことですね。

(アドバイザー)

境港の魅力だけでなく、外の魅力をここでも味わえるということですよ。前回との違いはそこら辺かな。いながらにして。

(事務局)

ウェブを活用したりして、境港に住んでいながら、外の魅力も味わえるということですね。

それでは、これからの推進会議で話していくこともまとまったかと思います。皆さまありがとうございました。

不慣れな進行でご迷惑をおかけしました。以上で、ワークショップを終了いたします。ありがとうございました。

5. 事務連絡・閉会

(事務局)

事務連絡ですが、次回の推進会議ですが、8月中に開催させていただく予定です。詳細は追って連絡させていただきますが、市民活動推進補助金の審査をしていただきます。今月の7月1日から7月15日まで募集をしまして、1件の申込みがありましたので、また書類審査をお願いします。

それから、情報提供というかPRですが、地域振興課でふるさと納税を担当しておりますが、この度、新しいパンフレットができましたので、皆さまにも見ていただき、また、市外の方にぜひPRをしていただけたらと思います。ふるさと納税は市内の方からの寄附は返礼品をお渡しできませんので、市外の人にぜひ宣伝していただけたらと思います。

それでは、長い間お付き合いいただきましたが、以上で、第2回みんなでまちづくり推進会議を終了したいと思います。皆さまお疲れ様でした。

<閉会>